

位置情報共有アプリで面識のない人とつながることの危険性

友だち同士でお互いの居場所を共有し合える位置情報共有アプリの利用が、若者を中心に広がっています。待ち合わせや災害時の安否確認などに使えてとても便利な反面、面識のない人とつながってトラブルに巻き込まれてしまう危険性もあります。

位置情報共有アプリの機能について

位置情報共有アプリで他の利用者と友だちとしてつながると、右のイラストのような地図とアイコンで、お互いの現在地を確認し合うことができます。

また、サービスごとに違いはありますが、位置情報共有アプリには以下のような機能もあります。

- ・その場所での滞在時間が表示される
- ・家や学校にいるときに、そのマークが表示される
- ・友だちとしてつながった相手と、メッセージのやりとりができる
- ・友だちとしてつながった相手のスマートフォンの電池残量が表示される



子どもたちが面識のない人とつながってしまうことも……

インターネット上の他のサービスで知り合い仲良くなった人から一緒に使おうと誘われたり、自分のアプリのIDをSNS上などで公開して友だちを募集したりして、子どもたちが面識のない人と位置情報共有アプリで友だちとしてつながってしまうケースがあります。

しかし、位置情報共有アプリでは、相手の家や学校、行動パターンなどが簡単にわかってしまうため、面識のない人とつながるのはとても危険です。面識のない人と友だちとしてつながったことで、ストーカー被害を受けたり、家に来られて暴行被害を受けたりしたという事件も実際に起きています。

SNS



A子
@xxxxxxxx
○○○○（位置情報共有アプリのサービス名）やっている人、誰でも追加して！
ID→xxxxxxxx

#友だち募集 #中高生



位置情報共有アプリではさまざまな情報が相手に筒抜けになるので、面識のない人とつながると事件に巻き込まれてしまう危険性があります。そのことを子どもたちに理解させ、面識のない人とは絶対に友だちにならないように指導してください。また、自分のアプリのIDをインターネット上に載せないように注意しておくことも必要です。